

# NAGOJISAN



原動力は、皆様の笑顔。  
そして肉。

## 第8のおじさん

ひらやま接骨院 院長  
**平山貴博さん 37歳 水瓶座**  
 職業：柔道整復師、交通事故専門士、ケアマネジャー  
 趣味：スポーツ、SNSサーフィン、麻雀、携帯ゲーム



おじさんポイント(自己申告制)  
**-2兆 pt**

大須UCHU MAMAの  
勝手に鑑定コーナー

仕事力

色気

人懐っこさ

SNS力

心の若さ

平山おじさんのラッキーカラーはピンクとイエローとオレンジ。元気の出るビタミンカラーを取り入れると持ち前の愛情や明るい笑顔がますます輝く！不屈の精神にも更に磨きがかかってますます大成功。目指せデキオジ!!

■ Pink ■ Yellow ■ Orange

立ち上がれ、名古屋のおじさんたち

「おじさん」  
 なんて哀しい響きでしょう。  
 「おじさん」と聞いて爽やかなイメージを抱く人はいない……。おそらくほとんどの方は「クサイ」「古い」「古い」イメージで、時には「老害」などという冠もついてくるでしょう。  
 自分はその「おじさん」ではない、まだ違う！と多くのおじさんは思っあがいていることでしょう。  
 でもいいんです。「おじさん」でいいんです。「おじさん」だって輝くときがある。光っているんです！（脂で）  
 「おじさん」は一生懸命働いている。「おじさん」が考えた商品が、サービスが、街を、生活をつくっている。そんな働く「おじさん」にスポットライトを当ててみようではないか。新しい一面が見えてくるかもしれない。

名古屋で働く「おじさん」マガジン NAGOJISAN 編集長の言葉  
 令和三年

柔道歴22年のおじさんが  
カラダを治療します。

# おじさんの 仕事



— お仕事はどんなことを？

瑞穂区で接骨院を営んで6年目です。接骨院は「柔道整復師」という国家資格者が骨・関節・筋肉などの運動器に対して施術を行うところで骨折、脱臼、捻挫、打撲、挫傷（肉離れ）に対して健康保険を適用して治療ができます。「怪我を根拠を持って治す」ということに注力し、地域医療の末端を担う存在でありたいと思っています。

— なぜ接骨院を開業されたのですか？

今年で柔道歴22年目なんです何が柔道に携わる仕事をしたかったんです。

昔接骨院は道場の隣にあることが多くて、道場の子ども達を接骨院のおじいちゃんたちが笑顔で見ている、そんな接骨院をやりたかったです。

僕、おじいちゃんおばあちゃん子で、高齢者の方が好きなんですよね。

— 先生のお人柄もあって  
順調そうですね

開業したての頃は患者さんが増えなくて苦労しました。親から借りた運転資金もほとんど食いっぶしているようで自分を責めたりして。開業5ヶ月目くらいから母校の大谷高校の生徒さんが来てくれて、またその部活の友達を連れてきてくれたりして、忙しくなってきました。ありがたいです。

術後脚が一ミリも動かなかった患者さんが歩けるようになったとか、全く上がらなかつた肩が上がるようになったとか、そんな声を聞いたり笑顔を見ると本当に嬉しいです。



インタビューそっちのけで施術してもらうスタッフと、快く引き受けてくれる平山氏。

# おじさんの 中身

カバンの



キーホルダーにつけてある笛は大学時代に仲良し4人組でお揃いで買ったもの。もう音はならず、色も赤だったのが剥げてしまっているが大切な思い出の詰まった物。タバコはアイコスと2種類常備。なくなったらすぐに欲しいタイプでティッシュや洗剤など何でもストック派。  
名刺入れとかばんはどちらも奥様からの誕生日プレゼント。  
小銭入れは患者様から頂いたもので大切に愛用中。

# おじさんの プライベート

# おじさんの全盛期 あの頃

— 全盛期っていつですか？

今が一番勉強していると思います。本を読んだり、患者さんに育ててもらっていると痛感しています。

治療した中でも出会ったことのない症例に出会うんです。院長だから誰も教えてくれない、だからこそしっかりと勉強して例えばエコーを使って根拠のある治療と説明をしっかりと行いたいんです。



日々勉強、  
施術も進化

— 柔道時代もすごいですよね

柔道の全盛期は高3かな、MAX、111.5キロあったんです！友達が夜中12時に遊びに来て2時にコンビ二行って4時に寝たら108キロからあつという間に増えました（笑）柔道には打ち込んでいましたよ。風邪も全くひかなかったです、今もひかないです。

— 趣味とかありますか？

野球が好きですね。中学校の頃はリトルリーグに入っていました。僕、小6で70キロあったんです。今はもっぱら観戦です、日本のプロ野球から大リーグまで何でも観ます。スポーツ観戦は大好きで、サッカーワールドカップも観ますし、休日は近所の公園で子どもとサッカーしたりします。

— 小6で70キロすごいですね……

実家が肉屋を営んでいたんです。肉はいつも食べていましたね。実家に行くとお父が焼き肉をやってくれたりして、やっぱり美味しいですよ、子どもたちも大喜びです。

— 先生お肌ツヤツヤですね

肉のせいかも、肌が綺麗と言っていたけどこと多いんですけど、実家の両親も肌が綺麗かも（笑）

おじさんは肉を未来を見つめる……。老若男女の健康を目指して……。

背筋

## おじさんの 夢

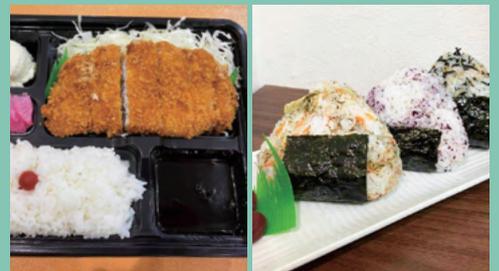
OJISAN'S DREAM

— 今後の夢って？

将来的には運動型のデザイナーやケアマネジメント業などもやってみたいと思います。どんな人にも必ず「老」はやってきます。できるだけ健康に過ごしてもらうために鏡を見ながら体操したり、易しい強度での運動をできて、座ってお茶を飲みながら交流できたり、高齢者が通うスポーツジムのような施設ができたらいいですね。

## 今日の おじランチ

WORKING OJISAN'S LUNCH



お気に入りランチは「おにぎり」と「豚カツ弁当」。

おにぎりは奥様のご実家「答志島」から送ってもらった海苔やじゃこを使っておりとても美味しいとのこと。

豚カツ弁当は接骨院の近くにある「さくどん」というお店のお弁当、味もボリュームも大満足で590円、コスパ最強の一品！

— 若者にメッセージを

何に関してもまず行動に移してみる。それが合わなければやめればいい。時間はあつという間に過ぎる。学生時代も僕なりに一生懸命やってきたと思いますが今思えばもっとやれたことがあるかも、だから今を無駄にしないでほしいと思います。



未来を思い描く平山氏。ご本人のフィギュアは、肌のツヤもバッチリ再現（フィギュアは大学時代の同級生F君からのプレゼント）。

いい仕事 学びと笑顔 忘れずに

／ 満身創痍頑張ります ／



おじさんの闘いは続く

名古屋で働く『おじさん』マガジン  
NAGOJISAN vol.08

企画・制作・発行  
株式会社シーエムバー

取材・文 / 渡邊享子  
デザイン / 廣瀬文洋  
編集長 / 渡辺じろう



おじさんは元気に、熱い目をして語った。時にはろくろを回しながら……。患者さんの回復や笑顔を見るため、常に勉強し、誠心誠意戦っている。筋トレや柔道で心身ともに鍛えながら大きな夢に向かって常に走り続けている。確かな腕と明るい笑顔で患者さんからの信頼を得続けているおじさん、すごいよ、ありがとうおじさん。

# 編集後記

私たちは名古屋で働くおじさんたちを応援しています!

**DINOMEN** ❖

もう、  
「クサイ」なんて  
言わせない。

疲れた  
ナゴジサンを  
癒します♥

公式Vtuber  
百乃葉ノア

DINOMEN  
薬用アオドラントボディソープ

**MINIATURE FACTORY**

営業車のミニカー、作りませんか?  
オリジナルのミニカー・キャラクターグッズ製作、おまかせください

ミニカーの制作実績、  
たくさんあります

NAGOJISAN  
名古屋で働く『おじさん』マガジン  
ナゴジサン